

委託費支出明細書

1. 委託事業名		平成17年度GESAMPによる海洋汚染物質再評価支援委託業務	
2. 事業の目的及び内容			
(1) 目的	<p>船舶によりばら積み輸送される有害液体物質については、マルポール条約附属書 により、国際的に汚染分類に応じた排出方法等が規定されているが、国際海事機構(IMO)において汚染分類の見直しの検討が進められてきた。その結果、2004年10月の海洋環境保護委員会(MEPC)でマルポール条約附属書 の改正が採択された。有害液体物質の新しい基準に基づいた分類(国際バルクケミカルコード:IBCコード)が国際的に導入される時期は、IMOにおける検討スケジュールにより、2007年1月が予定されており、有害液体物質に係る有害性評価については、海洋汚染について科学的観点から助言する国際的な専門家グループ(以下、GESAMP)が行うことになっている。</p> <p>以上の国際情勢を踏まえ、本業務は、GESAMPが新制度に基づいた査定を実施するために化学物質による水生生物への有害性評価を行う際に必要な情報を収集整理することを支援するための調査及び検討会を実施することを目的とした。</p> <p>未評価物質に関する情報、既評価物質に関する情報及び物質群別の情報を収集整理しGESAMP会合等の開催準備等を行った。</p>		
(2) 具体的な内容	<p>1. 査定物質に関する情報収集等</p> <p>(1) 化学物質の水生生物への有害性評価に関する情報の収集整理</p> <p>1) 未評価物質に関する情報の収集整理 新たに有害性評価を実施する物質について情報を収集し、データベース化等により整理した。</p> <p>2) 既評価物質に関する情報の収集整理 既に評価を実施した物質について最新の情報を収集し、データベース化等により整理した。</p> <p>(2) 物質群別情報の収集整理 有害性評価に必要な情報を物質群別に収集し、データベース化等により整理した。</p> <p>2. GESAMP関連作業</p> <p>(1) サブグループミーティングの開催 化学物質の水生生物への有害性評価を行うため、国内外の専門家4名で構成されるサブグループミーティングを東京都内で4日間開催した。</p> <p>(2) GESAMP対応国内委員会の開催 次年度のGESAMP検討事項や随時連絡のある質問事項(有害性評価結果の結論が保留になった事項)等について対応を検討するため、国内の専門家4名で構成されるGESAMP対</p>		
3. 委託先の公益法人の名称		財団法人 地球・人間環境フォーラム	
4. 委託費の額		2,700 千円(A)	
5. 委託費における管理費			
(1) 人件費	1,171 千円		
(2) 一般管理費	325 千円		
(3) その他の管理費			
	内 容	金 額	
		千円	
		千円	
	合 計	0 千円	
	合 計	1,496 千円	
6. 外部への支出			
(1) 外部に再委託されているものに関する支出			
	支出内容	支出先	金 額
			千円
			千円
	合 計		0 千円(B)
(2) (1)以外の支出			
	支出内容	支出先	金 額
	旅費	専門家	690 千円
	諸謝金	専門家	305 千円
	借料及び損料	貸会議室業者	11 千円
	消耗品費	貸会議室業者	0.3 千円
	会議費	貸会議室業者	2 千円
	文献複写費	JST	60 千円
	印刷製本費	印刷業者	7 千円
	合 計		1,075 千円
7. その他			
	内 容	金 額	
	消費税	129 千円	
		千円	
		千円	
	合 計	129 千円	
8. 再委託の割合		0 % (B / A)	